

はちまんたい

No. 30
2013年(平成25年)
2月7日

議会だより



輝け、子どもたち⑪ ー田山中ー

第62回県中学校スキー大会は1月11日から14日まで、田山クロスカントリーコースなどで行われ、3月で閉校となる田山中学校(佐藤雄心^{ゆうしん}校長、生徒23人)では8人の選手が出場し、学校として最後の大会で全力を尽くしました。【写真=女子クロスカントリーリレー】

主な内容

- 12月定例会.....02
- 一般質問.....04

Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

12月定例会 開催



市議会第4回定例会(12月定例会)最終日、「市民パークゴルフ一般利用者の料金軽減に関する請願」は賛成少数で不採択となりました(昨年12月14日)

192 小中学校を廃止 議案承認・可決

11月7日◆

第5回臨時会

全会一致で可決

平成24年市議会第4回定例会(12月定例会)を昨年12月6日から14日までの9日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、10人が一般質問をしたほか、全19議案を原案のとおり承認・可決しました。ここでは、昨年11月7日に開催した第5回臨時会と併せて、12月定例会の主な内容を紹介します(金額はそれぞれ1万円未満切り捨て)。

災害復旧工事費230万円の補正の理由は。

答 兄川の折合小橋の仮設道路撤去工事として、新規に発注するものである。

◆

12月6～14日◆

第4回定例会

全会一致で可決

平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)
歳入・歳出それぞれ1707万円を増額するものです。歳出の主なものは次のとおりです。

木造住宅建築支援事業助成費 800万円
牧草前処理作業機械借上料 564万円

この工事へ市内業者を下請けにするよう義務付けにできないか。
答 条件付き一般競争入札を公告するときに、下請け契約は市または県内に営業所がある業者から選定するよう要請している。

出発前には市勢要覧や観光パンフレットを差し上げてきた。今後は併せて市事業補助金を出していけるが、学生には市を紹介するものを持たせているのか。

答 出発前には市勢要覧や観光パンフレットを差し上げてきた。今後は併せて市事業補助金を出していけるが、学生には市を紹介するものを持たせているのか。

●人権擁護委員候補者の推薦について
3月31日で任期が満了する大森貞子さん(70)・秋葉○を、再び人権擁護委員に推薦しようとするものです。

●原案に同意

◆

12月6～14日◆

12月定例会では、請願3件を審査し、それぞれ1件ずつ採択、一部採択、不採択と決定しました。

全会一致で可決

●八幡平市学校設置条例の一部を改正する条例

東大更小学校を廃止し大更小学校に、田山中学校を廃止し安代中学校に統合しようとするものです。(4月1日施行、市内の小中学校は14校になります)。

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第8号)
歳入・歳出それぞれ8億3885万円を減額するものです。4特別会計と2事業会計の補正予算も含め全会一致で可決しました。歳出の主なものは次のとおり。
▼除雪業務委託料 7380万円

賛成多数で可決

●八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事(建築・機械設備)の請負契約の締結に関し議決を求めるについて

八幡平市庁舎建設と多目的ホール建設工事(建築・機械設備)契約を清水建設(株)・高建工業特定建設工事共同企業体と締結しようとするもので、契約金額は20億5800万円、予定期は平成26年9月30日までです。

●八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事(電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求めるについて

八幡平市庁舎建設と多目的ホール建設工事(電気設備)契約を(株)ユアテック岩手支社と締結しようとするもので、契約金額は3億3285万円、予定期は平成26年9月30日までです。

賛否の分かれた議案の採決結果

氏名 議案名 賛成 反対 除斥
瀬川健則議長は採決には加わりません

立花 安文 ○ ○
大森 力男 ○ ○
渡辺 義光 ○ ○
工藤 剛 ○ ○
渡邊 正 ● ●
高橋喜代春 ● ●
遠藤 公雄 ○ ○
古川 津好 ○ ○
小野寺昭一 ○ ○
田村 孝 ○ ○
田中榮司夫 ○ ○
高橋 守 一 ○
伊藤 一彦 ○ ○
高橋 悅郎 ● ●
小笠原壽男 ○ ○
関 善次郎 ○ ○
三浦 侃 ○ ○
松浦 博幸 ○ ○
大和田順一 ○ ○
高橋 光幸 ○ ○
米田 定男 ● ●
北口 和男 ○ ○
工藤 直道 ○ ○

※「○」=賛成、「●」=反対、「-」=除斥
瀬川健則議長は採決には加わりません

賛成多数で可決

●八幡平市学校設置条例の一部を改正する条例

東大更小学校を廃止し大更小学校に、田山中学校を廃止し安代中学校に統合しようとするものです。(4月1日施行、市内の小中学校は14校になります)。

●八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事(建築・機械設備)の請負契約の締結に関し議決を求めるについて

八幡平市庁舎建設と多目的ホール建設工事(建築・機械設備)契約を清水建設(株)・高建工業特定建設工事共同企業体と締結しようとするもので、契約金額は20億5800万円、予定期は平成26年9月30日までです。

●八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事(電気設備)の請負契約の締結に関し議決を求めるについて

八幡平市庁舎建設と多目的ホール建設工事(電気設備)契約を(株)ユアテック岩手支社と締結しようとするもので、契約金額は3億3285万円、予定期は平成26年9月30日までです。

賛成多数で可決

●八幡平



おの でらしういち
小野寺昭一 議員

質問した事項

- ・冬季スポーツ振興について
- ・高齢者・障害者の環境整備について



今シーズンから市内小中学生の希望者に発行している田山スキー場の無料シーズン券「ひかりパスポート券」

田山スキー場のリフト無料化

市内小中学生に無料バス発行

小野寺議員 今シーズンは、岩手スキー発祥100年であるが、県内のスキー場の入り込み数は減少傾向にある。市内にはスキー場が4カ所あるが、市営の田山スキー場のリフト使用料を市内の高校生まで免除すべきだと思うが考えは。

教育長 本年度から市内の小中学生の希望者には、田山スキー場の無料シーズン券「ひかりパスポート券」を発行している。市内の高校生には、田山スキー場および索道条例の「市内の学校が学校教育および社会教育課程に沿って使用すると

小野寺議員 県内で特別養護老人ホームに早期入所が必要な待機者は、23年度末で1164人である。そのうち、盛岡北部行政事務組合では74人いるが、第5期介護保険事業計画期間の施設整備を含めた待機者の状況と解消策は。

特養ホーム待機者状況と解消策

市長 八幡平市の状況は入所待機者237人のうち、在宅待機者64人、その中でも早期入所の必要な待機者は46人である。盛岡北部行政事務組合の第5期介護保険事業計画では、八幡平市に地域密着型介護老人福祉施設が1施設29床のほか、

小野寺議員 グループホームやケアホームによる障害者の居住支援をどのようにしていくのか。

市長 グループホームとケアホームの利用について、八幡平市が現時点でサービスの支給決定をしている障害者は54人いる。養護者である家族の高齢化と障害者の地域移行が今後さらに進むことから、さまざまな障害福祉サービスの提供と組み合わせた居住支援の充実について環境整備をする。

小野寺議員 認知症対応型共同生活介護施設は2施設18床の整備を計画している。今後、高齢者の増加で介護施設利用の増加が予想されるが、施設整備は介護保険料と直結することから、利用動向を見ながら検討する。

障害がある人への居住支援対策



JR東日本盛岡支社と基本協定を締結し、現在よりも平館駅方向に約500㍍移され、新庁舎に併設花輪線北森駅

高経費負担を避け移設を第一



ふるかわつよし
古川津好 議員

質問した事項

- ・移設駅の駅名について
- ・観光統計数値について
- ・スキー場などの今後について
- ・短角牛について

冬場の観光集客対策

古川議員 スキー場運営に替わる冬場の観光集客対策としてどのような活動をしているか。

市長 本年度も2月16日から24日まで、さくら公園を会場に「八幡平・安比ゆきフェスティバル2013」を開催する。さらに2月23・24日には、「いわてスイーツフェア」を滝沢村で開催するなど、盛岡広域で冬場の誘客を促進する。

古川議員 市内での短角牛の肥育頭数が減少しているが、今後どのような指導や総合的な観点から対応していただきたい。

教育長 合宿誘致にも力を入れ、さらに大会誘致については関係者の協力をいただき進めていきたい。

教育次長 自治体が単独でスキ場を運営している例がほとんどないことから、総合的な観点から対応していただきたい。

市長 他の駅の変更時に合わせるなど、タイミングを狙って経費の負担を減らす方法で対応したい。

まつ うら ひろ ゆき
松浦博幸 議員

質問した事項

- 農業施策について
- 道路改良整備について
- 合併特例債について

農家の所得向上への取り組み

戸別補償の法制化を要望する

市道堀切東線 前倒し着工を望む

市長 市道堀切線は平館地区と岩手町を結ぶ幹線道路だが、現状は指摘のとおりである。本年度は、道路整備を含めた修繕計画を策定したい。

松浦議員 市道堀切東線は、総延長2000mの整備が計画されているが、現在は砂利道で急勾配な箇所があるほか、側溝がないため、大雨の時は舗装部分に砂利が流れ出て危険である。全工程途中での前倒し着工はできないか。

松浦議員 農業経営を勇気づける農業者戸別所得補償制度の考えは。

市長 将来も継続して安定した制度にするために農業者戸別所得補償制度の法制化が必要である。制度そのものは予算措置にとどまっているので、これからも国に要望していきたい。



現在の位置より下流に新たにかけかかる市道堀切線赤川橋。本年度は橋梁の下部工の工事を行っています。

備に必要な用地測量業務を発注している。地元の要望を踏まえ、一部区間でも前倒しで工事着工、完成により効果を図りながら整備していくことができると考えている。

松浦議員 26年度完成に向け進める市道堀切線赤川橋の欄干は景観上、市内のものと色を統一してはどうか。

建設部長 国道282号西根バイパスの関連で整備しているものなので、県の状況も把握しながら整備に向けて進めたい。

松浦議員 合併特例債を活用してきた事業

市長 合併特例債は、合併に伴い必要な事業費の95%を充てることができ、元利償還金の70%を普通交付税として国が負担する有利な地方債である。対象事業は新市建設計画に登載されているもので、これまで道路整備や明治百年記念公園小水力発電所、松尾コミュニティセンター整備などに活用してきた。事業を推進する上で貴重な財源であることから、後年度の財政負担を考えながら、効率良く活用していきたい。



重量制限が14tとなっている安代地区的安比川に架かる愛宕橋は、宿泊施設への観光バスなどの大型車が多く往来しています

安代地区の愛宕橋の修繕計画

最優先で取り組む必要がある

渡邊議員 橋りょう長寿命化修繕計画の優先順位は。

市長 幹線道路および交通量の多い路線などで緊急性のある橋から優先的に修繕計画を策定し、25年度に完了する予定である。

渡邊議員 再生可能エネルギー発電の取り組み状況

市長 木質バイオマス発電については、八幡平市で事業化の検討を行っていた企業が経済産業省の再生可能エネルギー等導入促進支援対策事業をはじめとする補助金や融資などを活用し、事業計画の実施に向けた準備を進めている。これ以上火災が発生しないよう、一人暮らし高齢者世帯などには民生委員などを通して、定期的に火災予防啓発を行わなければならぬと考える。市民一人一人が火災予防に対して万全を期していただきたい。

渡邊議員 火災発生状況と対策

市長 24年は12月7日現在23件で、前年より15件増加し、合併後では、20年の25件に次いで火災が発生している。これ以上火災が発生しないよう、一人暮らし高齢者世帯などには民生委員などを通して、定期的に火災予防啓発を行わなければならぬと考える。市民一人一人が火災予防に対して万全を期していただきたい。



わた なべ ただし 正 議員

質問した事項

- 橋りょう長寿命化対策について
- 再生可能エネルギー発電について
- 火災対策について

工事を含めた修繕計画を策定したい。

八幡平市の観光振興などの観点や、道路や橋の管理責任者として市の立場を考えた場合、今も重量制限を超えた車両が往来している。最優先で修繕計画に入れるべきではないか。

備をしている。木質バイオマスエネルギーの利活用は、国の再生可能エネルギー政策で重要な部分を占めるとともに、今後の八幡平市の林業振興の一翼を担うものと考えられる。木質バイオマス発電施設整備について可能な限り支援などをしたい。



たか はし えつ ろう **高橋 悅郎** 議員

医療の充実市民から強い要望

4年後に西根病院建設を着工

なった。27年度末の地方債現在高は167億円、基金の合計残高は124億円と見込んでいる。

ブループホームと特養施設の整備

高橋議員 後期基本計画策定時に行つた市民意識調査で、市民から医療と高齢者福祉に重点的に取り組むべき結果が出ている。これ

質問した事項

- #### ・後期基本計画について



医療の施策の中心的な事業として整備が計画されている西根病院

高橋議員 後期基本計画等 定時に行つた市民意識調査 で、市民から医療と高齢者 特別養護施設の整備

高橋議員 後期基本計画策定時に実施した市民意識調査で、市民から医療と高齢者福祉に重点的に取り組むべきと結果が出ている。これ

度までの市総合計画の後期基本計画では、5年間で約310億円の主要事業が計画された。この主要事業の到達点と、27年度末での地方債残高と基金の合計残高の見込みは。

は西根病院の整備や介護施設であるグループホーム2施設、地域密着型特養1施設の整備を盛り込んだが進ちょく状況は。

ホーム2施設は、設置する業者を既に決定済みで、25年度内に開設予定である。地域密着型特養は、1月までに業者選定を行い、26年度中に建設予定である。

画されている。この全体事業費は130億円ともいわれているが、27年度までの後期基本計画内に着工する事業はあるのか。また後期基本計画では計画されていないが、地域の強い要望である松子線拡幅や新設の大更東線・大更南線の着工見込みは。

實を経て、何處かで、この方針が
画されている。この全体事業費は130億円ともいわ
れているが、27年度までの後期基本計画内に着工する事業はあるのか。また後期基本計画では計画されていないが、地域の強い要望である松子線拡幅や新設の大東線・大更南線の着工見込みは。

建設部長 大更駅前線と大更駅前広場整備を進めてい
るが、現在地権者との合意形成に向け検討している。
これらは28年度以降の補償費などから始める予定なので、後期基本計画にはその予算は入っていない。

副市長 市道松子線拡幅や大更東線・大更南線の着工は、後期基本計画に入つてないから後回しということではない。可能な事業については予算編成時に検討し
実施へ踏み切りたい。



歩道が途中で切れてしまっている主要地方道岩手平館線の山崎野バス停付近

山崎野など歩道工事どう対処 25年度着工に向け進めている

遠藤議員 特に山崎野バス停付近は、片側の路肩がほとんどないため危険である
踏まえながら、引き続き県に要望していきたい。
早急に進めてほしい。

企画総務部長 現在進めて
いる協働によるまちづくり
事業補助金の見直しの中で
検討したい。

主要地方道岩手平館線では、山崎野バス停付近と上関信号機付近、帷子のガソリンスタンドに向かい側の3カ所の歩道が途中で切れている。どのような経過によるものか。また、今後どう対処するのか。

市長 主要地方道岩手平館線は、昭和50年代に工事をした当時、用地取得できた区間の整備をしたものである。今後の計画として、山崎野バス停付近は本年度用地測量と用地取得を行い、25年度には工事着手に向けて取り組む予定である。他

遠藤議員 市で防犯灯の整備が行われているが、市と各自治会の管理の区分けは**市長** 防犯灯の設置は、集落内は自治会などで設置、維持管理し、集落と集落の間は市が設置し、市防犯協会が維持管理している。

遠藤議員 天気が悪い日だと昼でも防犯灯がついたままになつていて。修理費用を市で全額負担できないか

市民福祉部長 自治会で管理している分の実態は押さえていない。これまでどおり自治会で対応してほしい

世界に羽はたく産地として、早期にリンドウ栽培者1戸当たり20万本の生産と花卉販売高15億円を達成するためには、生産者やJJA、行政が一体となつて進めなければならない。
市長の見解は。

市長 4年ほど前から安代地域の生産者から理解をいただき、市内全域でリンドウ栽培ができるようになり大石平の生産組合で成功した例も出てきている。八幡平市の大きな目玉の施策の一つにして、積極的な支援措置に取り組みたい。

遠藤議員 特に山崎野バス停付近は、片側の路肩がほとんどないため危険である
踏まえながら、引き続き県に要望していきたい。
早急に進めてほしい。

企画総務部長 現在進めて
いる協働によるまちづくり
事業補助金の見直しの中で
検討したい。

地域おこしに外部人材の活用

どんな人材が必要か明確に



みうら ただし
侃議員

質問した事項

- ・新過疎法と集落再生について
- ・ILCについて

三浦 議員 過疎地域自立促進特別措置法とは別に、総務省が地方の再生、地域力の創造の一環として創設した外部人材を活用する制度がある。外部の目から地域力を向上させ、定住促進を組みに特別交付税を措置するものである。この制度を市として活用してきたか。

市長 八幡平市ではこれまで活用した例はない。

三浦 議員 この制度で地方に来る人は、仕事を辞めて定住する覚悟で来ている人が多いという。八幡平市の地域おこしを外部の知恵を入れながらやるべきと考えるがどうか。

企画総務部長 地域おこし協力隊を考えていたが、仕事はどうするのか、日常の生活はそれだけでいいのか



昨年10月30日に八幡平ハイツで開かれたJOIN(移住・交流促進機構)地方交流会in岩手県&いわて定住・交流促進フォーラム

三浦 議員 総務省では、条件を付けずに、地域の実情に合わせて制度を活用できることである。外部の人材に何をもらいたいのか、どんな人材が欲しいのかなどを明確に示すべきと考えるがどうか。

市長 北上山地がILC有力な候補地に

三浦 議員 過疎地域自立促進特別措置法とは別に、総務省が地方の再生、地域力の創造の一環として創設した外部人材を活用する制度がある。外部の目から地域力を向上させ、定住促進を組みに特別交付税を措置するものである。この制度を市として活用してきたか。

図つていくもので、集落支援員や地域おこし協力隊などを設置した自治体の取り組みに特別交付税を措置するものである。この制度を市として活用してきたか。

三浦 議員 総務省では、条件を付けずに、地域の実情に合わせて制度を活用できることである。外部の人材に何をもらいたいのか、どんな人材が欲しいのかなどを明確に示すべきと考えるがどうか。

市長 地域でどのような人材を必要としているのかを協議した上で、総務省に対して要望していく。



市では、設計委託業務などの建設関連業務の入札についても最低制限価格制度の導入を予定しています
(1月24日に西根地区市民センターで行われた入札会)

建設関連業務も4月導入予定「最低制限価格制度」の導入



まいた さだお
米田定男議員

質問した事項

- ・公契約について
- ・土地開発基金について

米田 議員 質問の趣旨は、公共事業などに従事する労働者が適正な賃金を確保できるよう労働環境を改善するために、自治体の取り組みを前進させるというものである。この取り組みは、自治体の政治の責任であり、大きな意義があると考える。

具体的には、設計委託業務などの異常な低価格落札の問題である。実態として、これまで予定価格の2割ほどで落札されたこともあります。この業種は、必要経費の中で人件費の比率が高いと想定され、低価格落札は

米田 議員 土地開発基金や基⾦そのものについて否定するものではないが、会計原則は単年度会計であり、基⾦の積み立ては、その例外である。また、税負担の

副市長 基金が会計年度独立の原則の例外であること、つまり活用されていないものや多額のもの、長期のものなどについて問題がある。固定化した5億円の土地開発基金をずっと保有することについて検討が必要であるほか、妥当な金額についても調査検討していく。

必然的に働く人たちの賃金などへ直接的に影響するところが懸念される。

問題の改善策として、設計委託業務などへの最低価格制度の導入についてどう

検討しているのか。

市長 低入札価格に伴う人件費へのしわ寄せを防止するため、設計委託業務などの建設関連業務についても最低制限価格制度を導入する準備を進めている。現在、適正な方法を設定するための情報収集の段階だが、25年4月から導入していくことが考えている。

市長 低入札価格に伴う人件費へのしわ寄せを防止するため、設計委託業務などの建設関連業務についても最低制限価格制度を導入する準備を進めている。現在、適正な方法を設定するための情報収集の段階だが、25年4月から導入していくことが考えている。

市長 合併前に旧3町村が保有していた土地開発基金は約8億円余りであったが、合併時に八幡平市土地開発基金条例で額を定めるとき現金で保有している額を目安として5億円としたものである。

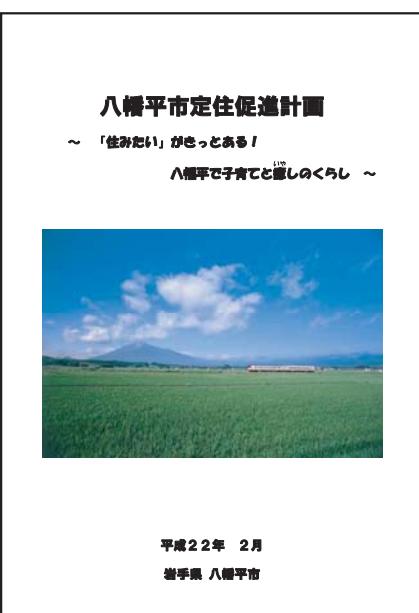
市長 合併前に旧3町村が保有していた土地開発基金は約8億円余りであったが、合併時に八幡平市土地開発基金条例で額を定めるとき現金で保有している額を目安として5億円としたものである。



おお わ だ じゅんいち
大和田順一 議員

定住促進計画の推進を強力に

あらゆる分野の問題共有から



21年度に策定された「八幡平市定住促進計画」

質問した事項

- ・市定住促進計画の取り組みについて
- ・公共施設の評価の取り組みについて

大和田議員 現在、市の人口減少対策として定住化の促進に取り組んでいるが、産業振興や経済効果、地域づくりの活性化を目指す点からも強力に推進すべきと思うが考えは。

市長 21年度に交流人口増加から定住人口の増加へつなげることを目的に策定した「八幡平市定住促進計画」に基づき、先進地や関

係団体から情報を得て、住希望者のニーズに合った事業を展開できるよう検討をしながら事業を行ってきている。定住促進事業の成績としての人口増加という実績はないが、引き続き地道に実施していくとともに、新しい計画策定に向けて検証をしながら今後も定住促進に向けた事業を実施していくことをしたい。

公共施設の分析と評価が必要では

大和田議員 合併特例債終了後の市政運営については、特に経費の削減が求められる。各公共施設の維持管理や運営など、市民生活に直結する面やサービスの方を示すために、各施設

の強化と、民間活力などの協力が必要不可欠と思うが。

市長 人口の減少が続く八幡平市にとって定住化は重要な課題である。雇用の場となる産業振興や住環境の整備など、あらゆる分野の問題解決が必要であり、今後もそれぞれの分野の問題を共有しながら定住化を推進したい。また、移住交流に関してノウハウやアイデアを持つ民間団体や企業と積極的に連携して進めていきたい。

などの分析評価が必要ではないか。

市長 八幡平市が抱える喫緊の課題に、33年度からの普通交付税の一本算定に対する課題である。雇用の場

の最適化を図つていかなければならぬ。今後は、全

ての指摘のとおりで、公

共サービスの質を維持、向

上させるために、公共施

設の統廃合方針を踏まえた公共施設の修繕計画や

適正配置計画の策定の検討に入りたい。



両沼公民館で協働によるまちづくり補助金を活用した郷土の歴史・文化伝承事業(大更第33地割内、通称「横堰」)

地域の資産学習・認識が重要



わた なべ よし みつ
渡辺義光 議員

質問した事項

- ・地元学による地域活性化とまちづくりについて
- ・リサイクル本の普及と図書活動について
- ・岩手山登山道4コースの整備充実について

地元学…自分たちの暮らしの足元を見直し、地域に必要なものや次世代に残すべきのは何なのか、「あるもの」を活かし自分たちの責任を明確にしながら、元を調べ、考え、創りあげていこうという地域づくりの取り組み。

てはいる。郷土愛を育み、地域資源や伝統行事を広く情報発信し、観光振興にも結び付けていきたい。

八幡平市に関する人や資源、情報などの資料のほか、リサイクル本などを収集して展示する「八幡平市何でもプラザ」を設置しては、

NPO法人の取り組みは資源の有効活用であり、市民グループの広がりと活動を支援していきたい。

八幡平市内検討委員会で、西根寺田地区の山の神座像は女性像である。田山地区の2立像との組み合わせなど、資源の比較文化や同種、異質文化の組み合わせなど、資源の多角的研究と活用の方策は。

教育長 児川山神社の山の神像は、市指定文化財に向かた検討を進めたい。

渡辺議員 地域の視点、発想で地域にあるものや人、資源、情報を発見し、地域の個性を生かす「地元学」と考える。平凡社で出版した「みちのくの仏像」で紹介された児川と佐比内の山の神像なども地元学の好例として学ぶべきだ。

市長 地元のことを学び、地域の素晴らしさを発見することで住民主体のまちづくりができる。協働によるまちづくり補助金を活用した事業が、地域で展開され

渡辺議員 本年度の大更公民館まつりでNPO法人が行つたりサイクル本の無料持ち帰りが大好評だった。

教育次長 市文化財審議会で歴史・民俗・考古の悉皆調査について議論し、検討中である。博物館に新規に学芸員を配置し取り組む。

渡辺議員 西根寺田地区の山の神像は女性像である。田山地区の2立像との組み合わせなど、資源の比較文化や同種、異質文化の組み合わせなど、資源の多角的研究と活用の方策は。

教育長 児川山神社の山の神像は、市指定文化財に向かた検討を進めたい。

渡辺議員 地域の視点、発想で地域にあるものや人、資源、情報を発見し、地域の個性を生かす「地元学」と考える。平凡社で出版した「みちのくの仏像」で紹介された児川と佐比内の山の神像なども地元学の好例として学ぶべきだ。

市長 地元のことを学び、地域の素晴らしさを発見することで住民主体のまちづくりができる。協働によるまちづくり補助金を活用した事業が、地域で展開され

岩手山登山道整備4コースの充実を

渡辺議員 焚走り、上坊、七滝、松川の市内の岩手山登山道に何合目か分かる標柱設置と、焼走り国際交流村駐車場と焼走り登山道を結ぶ新路開発は。

市長 標柱設置は県など関係機関に要望する。新路は、国有林活用協議も踏まえて対応が必要と考えている。

東大更小学校に廃校となる東大更小学校にて歴史・民俗・考古の悉皆調査について議論し、検討中である。博物館に新規に学芸員を配置し取り組む。

渡辺議員 本年度の大更公民館まつりでNPO法人が行つたりサイクル本の無料持ち帰りが大好評だった。

教育次長 市文化財審議会で歴史・民俗・考古の悉皆調査について議論し、検討中である。博物館に新規に学芸員を配置し取り組む。

渡辺議員 西根寺田地区の山の神像は女性像である。田山地区の2立像との組み合わせなど、資源の比較文化や同種、異質文化の組み合わせなど、資源の多角的研究と活用の方策は。

教育長 児川山神社の山の神像は、市指定文化財に向かた検討を進めたい。

渡辺議員 地域の視点、発想で地域にあるものや人、資源、情報を発見し、地域の個性を生かす「地元学」と考える。平凡社で出版した「みちのくの仏像」で紹介された児川と佐比内の山の神像なども地元学の好例として学ぶべきだ。

市長 地元のことを学び、地域の素晴らしさを発見することで住民主体のまちづくりができる。協働によるまちづくり補助金を活用した事業が、地域で展開され

議会の動き（24年11月1日から 25年1月31日まで）

24年11月

- ▶ 2日 議会改革調査特別委員会第3小委員会、産業建設常任委員会所管事務調査、広域行政圈市議会協議会第61回理事会
- ▶ 6日 教育民生常任委員会所管事務調査
- ▶ 7日 議会運営委員会、市議会第5回臨時会、議員全員協議会、議会改革調査特別委員会第2小委員会
- ▶ 8日 京都府福知山市議会会派行政視察来庁、全国温泉所在都市議会議長会第81回役員会、議会広報特別委員会所管事務調査（～9日）
- ▶ 12日 県市議会議員研修会
- ▶ 13日 議会改革調査特別委員会第1小委員会、全国市議会議長会基地協議会東北部会役員会および第20回定期総会、新潟県加茂市議会会派行政視察来庁
- ▶ 14日 議会改革調査特別委員会第2小委員会
- ▶ 16日 議会改革調査特別委員会小委員長会議、全国過疎地域自立促進連盟第118回理事会および第43回定期総会
- ▶ 20日 全国市議会議長会基地協議会第78回理事会および衆・参基地関係委員会委員との要望懇談会、産業建設常任委員会所管事務調査に係る観光事業現況調査
- ▶ 22日 議会改革調査特別委員会第3小委員会視察研修
- ▶ 27日 金ヶ崎町議会産業建設常任委員会行政視察来庁

3月定例会の日程（予定）

期日	内容
2月21日(木)	市長施政方針演説ほか
2月22日(金) ～ 3月4日(月)	休会
3月5日(火)	会派代表質問
3月6日(水)	一般質問
3月7日(木)	一般質問
3月8日(金)	一般質問
3月9日(土)	休会
3月10日(日)	休会
3月11日(月)	休会
3月12日(火)	議案審議
3月13日(水)	予算特別委員会
3月14日(木)	予算特別委員会
3月15日(金)	予算特別委員会
3月16日(土)	休会
3月17日(日)	休会
3月18日(月)	予算特別委員会
3月19日(火)	予算特別委員会
3月20日(水)	休会
3月21日(木)	休会
3月22日(金)	議案審議、請願・発議案審議

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。

■おわびと訂正 議会だよりNo.29・6号、水道事業の決算状況は、収益的収支の収入額「5億1,121万円」、支出額「4億6,606万円」の誤りでした。おわびして訂正します。

- ▶ 30日 議会改革調査特別委員会第2小委員会、議会運営委員会
- 12月
 - ▶ 3日 議会改革調査特別委員会第1小委員会
 - ▶ 5日 議会改革調査特別委員会小委員長会議
 - ▶ 6日 議会運営委員会、市議会第4回（12月）定期会（～14日）、議会改革調査特別委員会、議会広報特別委員会
 - ▶ 7日 会派代表者会議、産業建設常任委員会
 - ▶ 10日 教育民生常任委員会
 - ▶ 11日 産業建設常任委員会
 - ▶ 12日 市政調査会理事会、議会改革調査特別委員会小委員長会議
 - ▶ 14日 教育民生常任委員会、議員全員協議会、議会運営委員会
 - ▶ 17日 緑松会・自由クラブ・無会派（渡邊正議員）合同研修（～19日）
 - ▶ 20日 市政クラブ会派研修（～22日）
 - ▶ 26日 議会広報特別委員会
- ▶ 10日 議会改革調査特別委員会第3小委員会
- ▶ 15日 議会改革調査特別委員会第1小委員会
- ▶ 17日 議会改革調査特別委員会第2小委員会、県市議会議長会第2回定期総会（～18日）
- ▶ 22日 議会改革調査特別委員会第2小委員会、教育民生常任委員会所管事務調査
- ▶ 25日 市政調査会名護市訪問（～28日）
- ▶ 28日 議会広報特別委員会、市政クラブ会派研修（～31日）



○の中には、どんな数字（文字）が入るでしょう？
4月から小中学校が統廃合されますが
現在の市内の小中学校の数は○○校

応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、議会だよりを読んだ感想、市議会へのご意見・ご要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で5人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
※お寄せいただいた個人情報は、本目的以外には使用しません。

あて先

〒028-7192（住所不要）八幡平市議会事務局 議会だより係
FAX：0195-76-2980
Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp

応募期限

平成25年3月1日（金）

前回（No.29）の正解 24.5（%）

応募者 23人 正解者 23人
当選者 小野寺敬子さん（平館）、小野寺光義さん（平館）、細田美知信さん（松尾寄木）、佐藤萌々さん（打田内）、森望さん（大更）

議会運営委員会

- 期日・研修先 24年10月29日（月）＝静岡県伊東市、30日（火）＝静岡県熱海市
- 内容 議会運営についての先進事例調査



伊東市役所（昨年10月29日）

伊藤一彦（委員長） 米田定男（副委員長） 工藤直道
関善次郎 高橋守 田村孝 濑川健則（オブザーバー）

◎ 静岡県伊東市

「市民に対する開かれた議会」を目指し、議会図書室の市民開放や「子ども議会」の開催など、積極的な情報公開に取り組んでいました。また、議会改革についても「地域主権時代に対応した議会機能の充実について」をテーマに、インターネット中継や議会報告会などの調査研究を進めているということでした。

議会広報特別委員会

- 期日・研修先 24年11月8日（木）・9日（金）＝福島県南会津町
- 内容 議会広報活動についての先進事例調査



南会津町議会（昨年11月8日）

高橋悦郎（委員長） 高橋喜代春（副委員長）
小野寺昭一 古川津好 渡辺義光 立花安文

◎ 福島県南会津町

人が編集する「みなみあいづ議会だより」は、発行に当たって「議会が町民にお知らせすべきことをわかりやすく、できるだけはやすく伝えられる」「親しみやすく、読みやすい紙面づくりを行い、住民が読みたくなる議会だより」を目指し、読者参加などの企画や特集記事の掲載に取り組んでいました。

また、議会として町民に対し議会で決まったことなどを説明する「議会報告会」を20年から毎定期例会ごとに行政区単位で開催しているほか、昨年6月からはインターネット配信（ライブ中継および録画映像）も開始しているということでした。

八起会

高橋守（代表）
三浦侃 小笠原壽男
小野寺昭一

防災行政無線のあり方探る



長崎県島原市（昨年10月19日）

八起会は昨年10月17日から20日まで、福岡県久留米市で「防災ラジオ」、佐賀県江北町で「MCAコミュニティ無線システム」、長崎県島原市で「防災への取り組み」、鹿児島県鹿児島市で「同報系デジタル防災行政無線」と、防災関連の視察をしました。

八幡平市では、今後防災行政無線をデジタル化に移行しなければなりません。八起会では、防災行政無線との併用、またはそれに代わるものとして、FMコミュニティラジオの活用を検討していくと考えています。過去に西根地区で利用された農事有線放送と同じ利用方法によるのではないかでしょうか。今回この視察を今後の安全安心なまちづくりに生かしていきたいと思います。



(昨年8月5日、子ども伝統芸能フェスティバル)

先人から 受け継ぐ(11) 田頭竹の子舞

田頭竹の子舞は、江戸時代の盛岡藩・南部公のお抱え芸能集団「南部七軒丁」の演目の流れをくむもので、大正時代に盛岡の行商人が田頭地区に伝え、現在に引き継がれているものです。現在は市芸術祭などで披露されています。

踊りは、竹の枝に止まっている大勢の雀が地面から生まれ出るタケノコを見つ

けて、おめでたい文句とともに、「ミッサイナ(見なさいな)」とはやしあつてゐる様子を表したもので。おめでたい席では「はやし舞」とも言われ、にぎやかで軽快な曲調です。

◎保存会代表 佐々木一夫さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和60年7月22日(旧西根町指定)



松川公民館長を務めていて日頃感じるのは、若い人たちが少ないということです。地域でできることは地域に住む人たちで考え、進める「協働のまちづくり」に取り組むためにも、若い人たちがいなければ、まちは活性化されません。人口の減少に歯止めをかける努力を市に期待したいと思います。

傍聴をしたことがあります。議会の声を聞くことは大切だと思いました。これからは周りの人たちを誘つて傍聴に行きたいです。そのため、もっと議会の日程を知る手段があれば良いと思います。また、議会だよりや広報はちゃんとで、市民の関心のある事業の記事を載せてほしいですね。

若い人たちを増やし
人口減少に歯止めを



松村幸一郎さん(松川)

議会のまごと